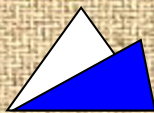


会報

日本勤労者山岳連盟(富山県連盟)

新日本スポーツ連盟



# 三島野 スポーツクラブ

No. 299

2025 年 8 月 1 日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



乗鞍岳頂上 剣ヶ峰へ登山口 小木 清画

## 8 月・9 月企画案内

- 8/11(月 山の日) 乗鞍岳
- 8/20(水)自主企画 上高地・岳沢
- 9/5(金)～7(日) 尾瀬ヶ原
- 9/20(土) 霧訪山

## 山行報告

- ◇ 極楽坂山 7 月 13 日
- ◇ 針ノ木縦走 7 月 21 日～23 日
- ◇ 八方尾根 7 月 25 日

## 8月・9月企画案内

# 8/11 (月・山の日)

## 乗鞍岳 3025.6m 高山市／松本市

【出発】6時00分 薬勝寺池P (10分前まで集合)

【行程】朴木平バスターミナルから昼平までバス乗車

昼平～肩の小屋～剣ヶ峰を往復

累積標高差 約400m 歩行時間 3時間 (ゆっくり)

体力度・技術度とも★☆☆☆☆

昼平から短時間で登れるコースにも足を運びたいと思います。

魔王岳 (2764m) 昼平から往復 30分

大黒岳 (2772m) 昼平から往復 45分

富士見岳 (2817m) 剣ヶ峰からの下山途中の寄り道に登ることもできます

【費用】約6000円 (昼平までのシャトルバス往復 3400円)

【参加申込】8月1日まで 的場邦夫へ

SMS 090-4320-5325

乗鞍は北アルプスに入れられているが、遠くから眺めると、北アルプスの連嶺とは独立した形で、御嶽と並んで立っている。そして御嶽の重厚に対して、乗鞍には風颯とした感じがある。

うるはしみ見る乗鞍は遠くして

一目といえどながくほころむ

これは長塚節の歌だが、全く、乗鞍の姿をいっぺん見た人は、その山を忘れることは出来ないだろう。

(深田久弥 著「日本百名山」乗鞍岳より)

乗鞍岳山頂 剣ヶ峰



### 自主企画

## 8/20 (水) 上高地～岳沢 トレッキング

そびえる穂高の岩峰が目の前に、大迫力のパノラマとなって出迎えてくれます。岳沢小屋 2170mまでは登山道も比較的ゆるやかで、しっかりと整備された登山道です。小屋に到着したら、眺めの良いテラスでおくつろぎください。(岳沢小屋 HP より)

【出発】5時00分 (10分前に集合) 薬勝寺池P

【行程】平湯アカンダナP → 上高地バスターミナル →

岳沢登山口 → 風穴 → 西穂高展望所 →

見晴台 → 岳沢小屋

〈L〉堀井泰則 標高差 650m

体力・技術とも★☆☆☆☆

登り 3時間15分 下り 2時間30分

【費用】約5,000円 (交通費ほか)

【参加申込】8月10日まで 堀井泰則へ

SMS 090-1314-6394

【装備】無雪期の通常装備 防虫ネット or スプレー



岳沢小屋と穂高の岩稜

8/24～25 南ア・鳳凰三山は6名参加の申し込みで締め切りました。



# 9/5(金)~7(日) 尾瀬ヶ原 燧ヶ岳・至仏山

標高 1600m~1700m

2356m

2228m

## 本州最大規模の高層湿原



尾瀬は東西6km・南北2km、本州でも最大規模の高層湿原。6000~7000年もの長い年月をかけて湿原がつくりだされた。湿原内には木道やベンチなどが整備され、希少な自然を間近に愛でながら、ゆったりと散策を楽しむことができるようになっている。

## 燧ヶ岳と至仏山



尾瀬は標高 2000m級の山岳エリア。尾瀬ヶ原、尾瀬沼を囲むように山々がそびえている。尾瀬ヶ原の東側には東北以北の最高峰である燧ヶ岳、西側のなだらかな山容の至仏山がその代表格。さらに会津駒ヶ岳、田代山などが尾瀬の雄大な景観をつくりだす。

## 快適な山小屋での一夜



尾瀬には 20 軒あまりの山小屋があり、散策の途中に立ち寄り、宿泊ができる。客室は整備され、食事もおいしく快適だ。朝晩の尾瀬の景色を楽しむのも小屋泊まりの魅力。大半の小屋は風呂付きなのうれしい。テント泊できるキャンプ指定地も 3 カ所あり。

## 【行程】

- 1 日目** 小杉 IC 5:00 → 北陸道・関越道 → 沼田 IC → 片品村 → 大清水 P →  
一ノ瀬休憩所 1200m → 尾瀬沼 → 長蔵小屋 1667m [歩行時間 3 時間]
- 2 日目** 長蔵小屋 6:00 → 長英新道 → 燧ヶ岳 9:00 → 見晴新道 → 見晴キャンプ場 12:00  
→ 尾瀬ヶ原湿原 → 竜宮十字路 → 山ノ鼻・至仏山荘 1400m  
[標高差 登り約 700m 下り 950m 歩行時間 8 時間 30 分]
- 3 日目** 至仏山荘 6:00 → 至仏山 9:00 → 小至仏山 → 鳩待峠 11:00 (昼食) 12:00 →  
戸倉バス停 → 大清水 P  
[標高差 登り 850m 下り 700m 歩行時間 5 時間]

【参加申込】 8 月 5 日まで 的場邦夫へ SMS 090-4320-5235

山小屋の予約は 8 名で確保しました。先着順 8 名とします。

【費用】 約 40,000 円

# 9/20(土) 霧 訪 山

きりとうやま  
長野県塩尻市  
1306m

霧訪山は標高や外見からすると里山だが、人気の高さは全国レベルである。その理由はピリッと引き締まったところであろう。登りは胸突き八丁の連続で、頂上まで息つくひまもない。頂上は展望が開け、主立つ山々を広く望むことができる。

「信州ふるさと 120 山」より

標高差 約 400m

歩行時間 約 3 時間 30 分

体力度・技術度とも ★☆☆☆☆

※詳細は次号会報No.300に掲載します

# 第10回 北信越労山交流登山 in Fukui

主催 日本勤労者山岳連盟 北信越ブロック協議会

主管 福井県勤労者山岳連盟

と き 2025年9月27日(土)～28日(日)

ところ 福井県大野市 麻那姫湖 青少年旅行村



〔日 程〕

9/27 15:00～受付

17:30～交流会 各地の名産品、地酒などを交換し合楽しい交流会にしましょう。

各県連の自己紹介など

17:50～キャンプファイヤー BBQ 開始

9/28 自由登山（それぞれ下山報告後解散）

三島野スポーツクラブは「姥ヶ岳」「赤兎山」「取立山」のいずれかを歩行時間4時間前後の山を登る予定です。

三島野スポーツクラブとして北信越の労山の仲間の交流の場として積極的取り組みたいと思います。

参加希望者は8月8日(金)までに岩井富雄代表まで申し込んでください。

---

## 姥ヶ岳 うばがたけ

真名川の上流に位置する姥ヶ岳（標高1453m）。名前の由来は、昔、山頂近くの洞窟に山姥が住んでいたという伝説からきている。山頂からは白山や岐阜県境の山々が望め、眼下には笹生川ダムが望める。平家平を通るコースでは、オウレン畑やブナ林、ミズバショウの群生地など美しい自然に触れ合うことが出来る。

## 赤兎山 あかうさぎやま

白山国立公園の南西部に位置する、加越国境連山のひとつ。山頂からの眺めは素晴らしく、霊峰白山が優雅に横たわっている姿を見ることができます。この大パノラマは一見の価値があります。優しく丸みを帯びたこの山は、その姿かたちがウサギのように見えるため、赤兎山（あかうさぎやま：標高1,628.7m）と呼ばれるようになったといわれています。6月下旬から7月上旬にかけて、ニッコウキスゲ・ササユリなどが咲き競い、美しいお花畑を見ることができるでしょう。

## 取立山 とりたてやま

石川県の県境にあり、春先、ミズバショウが咲き乱れる山として名高い。

登山道は険しいルートが少なく、比較的楽に登山ができる。

街中では見られない高山植物や、白山連峰の大迫力のパノラマが待っている。1307m

メンバー：〈L〉 的場邦夫、〈写真〉 塚 良昭、〈記録〉 石黒洋子、加藤日出子、島倉津也子

### 【行程記録】

8:00 カモンパーク新湊出発  
9:00 登山口出発  
10:40 極楽坂山山頂、三角点  
10:55 極楽坂山展望広場  
11:20～11:50 展望台 昼食（幸せの鐘）  
12:00 極楽坂山頂駅  
13:35 登山口着 亀谷温泉へ  
15:40 カモンパーク新湊着



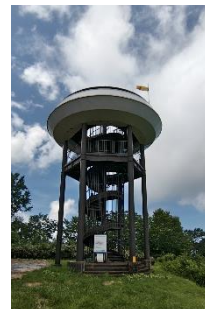
### ひとくち感想

石 黒：有峰料金所前の左側の細い道を進み駐車場へ着く。白樺がある美しい場所に登山口があった。スキー場の日陰無しの道を想像していましたが、木々に囲まれた山道の森歩きでした。汗たらたらな分、自然の風が心地よく、久しぶりの山歩きを楽しめました。鮮やかなパラグライダーやちょこんと座っていたカモシカさん、スキー場、山々の眺めが素晴らしかったです。亀谷温泉で汗を流し、さわやかになり帰宅。ご一緒した皆さん、ありがとうございました。



塚：マイナーな山なので荒れた登山道を覚悟していましたが、予想外に整備された広い歩きやすい道でした。景色も良いし気軽に登れる山なので、もっと沢山の山に登ってみたいと思いました。

的 場：梅雨のさなかの里山の山行企画の極楽坂山（1043.2m）山頂展望台（1171m）に登りました。天候に恵まれて山行出来ました。展望台では涼風が吹いて気持ち良かったが、林の中は太陽が木々の枝で遮られ直接当たらなかったがその代り涼風があまり当たらず汗びっしょりでした。ゴンドラ頂上駅が無くなり更地になっていました。パラグライダーを眺めながら極楽坂山からゴンドラ頂上駅までは気持ちの良い道でした。幸せの鐘を鳴らしてきました。



島 倉：Long Long ago この山の斜面を K2 の板でスーイスイと滑り降りた、淡い雪のような思い出がある。そして今回、なかなか手強くて 1000m ちょいの高さに難儀しながら登頂。頂上は風がとびっきり涼しく、周りの山々のパノラマも素晴らしく暑さが吹っ飛びました。極楽極楽。下りは先頭の塚さん、2 番手の石黒さんが快調に飛ばして、つられて下山。塚さんが飛ばした理由は登山口に着く直前に気づきました。車を冷やしてくれるためでした。やさしいなあ～合掌じゃあ。石黒さんは？？？

I say it's fine to be sixty

加 藤：夏山の低山は、厳しい精神訓練となりました。上から下迄 汗でビッショリです!!! 目的の極楽坂展望台まで何とか、辿り着いて昼食としました。展望台は風の通りが良く、休憩後身体もリフレッシュし快調に下山出来ました。今回は一週間後の針ノ木岳縦走の訓練登山となりました。





## 山行報告

7/21(金)～23(日)

# 針ノ木岳～爺ヶ岳 縦走

針ノ木岳 蓮華岳 スバリ岳 赤沢岳 鳴沢岳 岩小屋沢岳 爺ヶ岳  
2821m 2799m 2752m 2678m 2641m 2630m 2670m

メンバー： 〈L〉塚 良昭、棚田清志、加藤日出子、今村和子

### 【行程記録】

#### 7月21日

薬勝寺池 P 発 4:10  
扇沢駅 7:20  
大沢小屋 8:50～9:10  
針ノ木小屋 12:30～13:00  
蓮華岳 14:20  
.. . . .

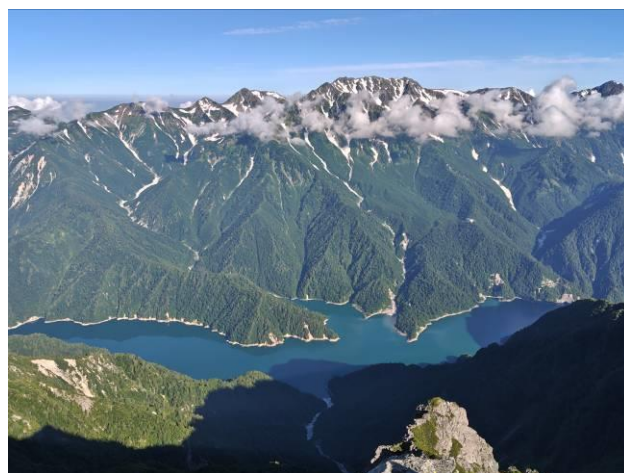
#### 7月22日

針ノ木小屋 6:00  
針ノ木岳 7:20  
スバリ岳 8:20  
赤沢岳 10:30  
鳴沢岳 11:30  
新越山荘 12:20～50  
岩小屋沢岳 13:40  
種池山荘 15:30

#### 7月23日

種池山荘発 6:00  
爺ヶ岳 7:05  
種池山荘 8:00  
扇沢駅 11:20  
薬師の湯 11:45  
入浴・昼食発 13:15  
薬勝寺池 P 着 16:00

### ひとくち感想



縦走路から黒部湖と立山

**か 藤：**扇沢からの登山スタートです。針の木雪渓はチェーンアイゼンで大丈夫。途中から夏道を歩く。初日は針の木小屋に着いて、昼食後蓮華岳へ向かうが、足が重く感じ前に進めない！Lに小屋へ戻る承諾得て、ベンチで思案する。スローペースでなら行けるかも？歩き出し稜線途中に、雀位の小さい雷鳥のヒナ3羽と親鳥に出逢えた。可愛かった!!頑張ったご褒美かな。蓮華岳山頂で先行者はコマクサの群生に浸っていた。全員で集合写真を撮り、暫し山頂のお花畑でくつろいだ。針の木小屋へ戻りビールで乾杯した。めっちゃ美味しかった。針の木岳縦走は景色が最高。勿論針の木岳もカッコいいが、針の木岳から見る蓮華岳もカッコよかった。北アルプスの真ん中なので、アルプス山脈の眺望は素晴らし過ぎます(^\_^)v 黒部湖はコバルトブルーの全望。スバリ、赤沢と難関で険しい山を、クリアしてホットー息。鳴沢～新越山荘でおにぎりを食べようと寄った。猿と出くわし威嚇されて怖かった!!高山植物のオンパレードや、雷鳥と二度出合って、登山者が「雷鳥の養鶏所」と言ってた(笑)

**今 村：**1 日目、7 時から扇沢駅横の林道を歩き始める。大沢小屋を過ぎると針の木大雪渓。アイゼンを付けて歩く。雪渓の涼しい風が、気持ちいい。針ノ木小屋に、荷物を置き、蓮華岳を目指す。途中、岩だらけの斜面にコマクサの群生が続く。薄ピンクの花が、とてもかわいい。



2 日目、いよいよ、サーキット登山開始。6 時から、目の前にそびえ立つ針ノ木岳を目指す。山頂からは、真下に黒部湖がくっきり見え感動！青空のように澄み切ったスカイブルーの湖が、とてもきれい。そこから岩場を下り、今度はスバリ岳へ。剣岳、立山、槍、穂高連峰などが、谷向こうに、くっきり見えて素晴らしい眺望！また下って登るを繰り返し、赤沢岳、鳴沢岳、新越乗越、岩小屋沢岳と、この日だけで6つの山頂に登る。登りがきつく、山道が長く、とても辛い。朝から9時間歩いて種池山荘に着いた時は、やった一と、大歓声！

3 日目は、早朝、爺ヶ岳の南峰と中峰を目指す。下山は、柏原新道を通り扇沢駅へ。予定より1時間も早く駐車場に着く。みんなのおかげで、とても楽しい登山ができた。計画、運転してくださった塚さん、一緒に登った棚田さん、加藤さん、ありがとうございました。

**棚 田：**雄山に登った時、黒部湖を挟んで対岸に見える山の連なりが気になっていた。それから、対岸に見える山から立山連峰はどんなふうに見えるのか？戦国時代に佐々成政が、真冬に超えたと言われる針ノ木峠はどんなところだろう。日本三大雪渓のひとつ針ノ木雪渓はどのようなになっているのだろう？こんな疑問に今回の山行は100%答えてくれました。3日間の総歩行時間が23時間、総歩行距離25.6km、累計標高差・登り2919m、下り3005mでよくも歩き、登り、下ったものです。大雪渓、浮き石とガレ場、緊張の岩稜登降、8つの山頂に広がる大パノラマ、ハイマツとシャクナゲの稜線散歩。高山植物が咲き乱れるお花畑、山小屋で仲間と飲む冷えた生ビール。夏山の全ての要素を満喫することが出来ました。同行の仲間に感謝します。

**塚 さん：**21日4時出発、午後から雨の予報が気にかかる。登山口の駐車場があいているか心配したが、3連休の最終日なので、帰る車もあり第2無料駐車場に止めることができた。途中に路駐の車が沢山あった。7時過ぎに針ノ木岳登山口を出発。林道を何回か横切り、沢も何度か渡り1時間20分で大沢小屋に到着する。ここで長めの休憩をとる。小屋番の方が水の確保のための作業をしているとのこと。私達の年齢を聞いて、この歳で針ノ木サーキットをするのかと驚いていました。大沢小屋を9時過ぎに出発し、1時間程で雪渓の入口に着く。軽アイゼンとヘルメットを付け雪渓を歩き出す。雪渓は涼しくて快適に歩ける。登る人は僅かだが、次々に下る人が降りて来る。今年は雪が多く山頂近くまで雪渓が繋がっている。1時間半程雪渓を歩き、最後はつづら折りの夏道を行き、12時過ぎに針ノ木小屋に到着する。受付を済ませ部屋で昼食休憩をとる。使わない荷物をデポし、1時に蓮華岳に向けて出発。途中見事な群生のコマクサに元気を貰う。1時間で蓮華岳に着き集合写真を撮る。ガスがかかり眺望はいまいちだが針ノ木岳の稜線や七倉岳方面が見渡せる。雲が厚くなり雷の音も聞こえるので、急いで小屋に戻り3時20分に到着。今日は私達以外に女性の宿泊客一人のみで、10人用部屋でゆったりと過ごせる。テントは10張りほどあった。夕食時に食卓を共にした女性は、熊本から単独で来て、昨日大沢小屋に泊まり、今日針ノ木岳・蓮華岳に登り明日帰るそうだ。熊本から二泊三日の強行山行に驚かされる。北アルプスへは何度も足を運んでいるようだ。





22日は6時に出発、昨日とは打って変わって快晴で期待が膨らむ。途中ガレ場で間近に雷鳥と遭遇する。驚かせないように静かに暫くながめる。1時間程で針ノ木岳山頂に到着、素晴らしい展望だ。エメラルドグリーンの黒部湖に剣岳・立山・薬師岳、鹿島槍・五竜・白馬、槍・穂高、薄らと富士山まで見渡すことが出来る。今回の山行で最高の眺望に出会え、来て良かったと感動にひたる。針ノ木岳の下りからスバリ岳の登り降り、赤沢岳を過ぎるまで、足場の悪い急なガレ場の連続で緊張を強いられる。また登山道にハイマツが生い茂り道を塞ぎ、かき分けていく状態で、二回ほど間違ひそうになる。鳴沢岳を越え12時20分に新越山荘に着く。ここで昼食のため30分休憩をとる。12時50分に出発し、岩小屋沢岳を越えて3時20分に種池山荘に到着する。今日は9時間半の道のり長く疲れました。種池山荘は満員状態で、個室だが3畳に4人の狭さだ。談話室で今日歩いた稜線を眺めながら歓談する。



23日も6時出発、爺ヶ岳南峰を通り中峯に7時到着。雲が懸かったり晴れたりで、鹿島槍ヶ岳への稜線や剣岳・立山が見え隠れする。山荘に戻り荷物を回収し8時20分に出発。良く整備された柏原新道を下る。平日だが次から次へと登山者が上がって来る。流石に人気の高さを窺わせる。途中で針ノ木雪渓と昨日歩いた稜線が見えて、よくもこの長い区間を歩いたものだと思う。予定より1時間早く、11時20分に駐車場に到着する。3日間とも心配した雨にも合わずに、ほぼ計画書通りの時間で行動出来ました。怪我人もなく全員無事に下山できた事が何よりです。

## 山行報告

# 7/25(金) 八方尾根トレッキング

〔メンバー〕〈L〉荒井英治、岩井富雄、川渕順正、堀井泰則、甲かほる

### 【行程】

薬勝寺池 P 出発	5:30
黒菱平リフト	8:45
八方山荘前出発	9:10
第一ケルン	9:50
八方池	10:55~13:25
八方山荘前着	14:30
黒菱平	14:55
薬勝寺池 P	18:00



### ひとくち感想

甲：黒菱平からリフトを2回乗り継いで八方尾根へ。やはり涼しかったです。シモツケソウ、ウツボグサ、マツムシソウ等々一面がお花いっぱい。手違いで丸山ケルンには行けなかったけど、八方池でゆっくりしました。白馬三山が見えそうで山頂稜線は最後まで雲に隠れてました。たくさんの五歳児も元気に登っている姿に励まされました。



川 淵：リフトを乗り継ぎ、降り立って仰ぐ空はガスもなく、最高のアルプス景観。歩く足元の斜面にはピンク色のシモツケソウや黄色のアキノキリンソウなどの高山植物が今を盛りに咲く。やはり盛夏には八方尾根はいい。白馬三山の雄姿は何度見ても飽き足らない。日差しは強いが、時々吹き抜ける風が清々しい。

丸山ケルンを目指してひたすら歩いたら、12時に着いた。ここから眺める「天狗の頭」「不帰ノ嶮のⅠ、Ⅱ、Ⅲ峰」は目の前に迫ってくる程の迫力。あたかも巨大スクリーンに映した山脈のパノラマ写真でした。



荒 井：水と塩分の補給のため水筒3本の水と塩ソーダ飴1袋を持参していった。少し風があったのと登山道の勾配が緩かったのでそれ程汗もかかず気持ちよく登って行けた。どこかの幼稚園児の団体が登っていて、バテた様子もなくどの子も元気よく登ってきたので感心し見惚れてしまった。高齢者にとって元気な子どもたちの様子が一番の慰めと喜びだ。それにしても子供たち全員が楽しそうに登山をしているなんてこれまであまり出会ったことがなく、この子らの通っている幼稚園の教育理念を聞いてみたい気がした。

堀 井：八方山荘から登り始めてすぐに白馬三山が目に飛び込んで心が踊る。学校が夏休みに入ったからなのか、登山道は列なして登るハイカーと登山者が埋め尽くしているのに驚いた。全くの久しぶりの登山に体はすぐにギブアップ。リーダーに「遅れて行くので、先に行ってほしい」と頼んでなんとか八方池まで足を進めることができた。途中でわずか5人のパーティーがバラけてしまった一因は自分の遅れにもあり、体力、脚力の現状を再確認し、今後の登山のし方の再検討をせまられた。

岩 井：黒菱駐車場に着いた時は、白馬三山の上部が綺麗でしたがこの季節らしく、時間が経つにつれしだいに雲がでてきて最後まで上部を見せてくれませんでした。人気が高いコースで観光客が多く外国人も多く見られました。



上・クルマユリ  
右・タカネマツムシソウ



ホソバツメクサ



タカネナデシコ



頭を雲に隠した白馬三山と八方池



八方尾根から鹿島槍ヶ岳（左）と五龍岳（右）

## 〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏 名	住 所	TEL	携帯
代 表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、岩井富雄、的場邦夫、堀井泰則、塚 良昭、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、石黒洋子、加藤日出子、島倉津也子、守田清子の 13 名で構成します。

〔監事〕今村和子、浦 幸江

〔相談役〕山田 格、林 憲彦

8 月の世話人会開催 **8 月 12 日（火）と 8 月 26（火）午後 2 時から**。会場は「はなみずき」です。

尚、どなたでも自由にさかすることができます。お気軽に足を運んでください。

**会報編集担当** 会報に記載する原稿は下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 [horii.yasunori@rouge.plala.or.jp](mailto:horii.yasunori@rouge.plala.or.jp)

甲かほる [kab@p2.tcnet.ne.jp](mailto:kab@p2.tcnet.ne.jp)

松田理恵子 [krbara@p2.tcnet.ne.jp](mailto:krbara@p2.tcnet.ne.jp)

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るとするには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは [http://sportstoyama.namaste.jp/99\\_blank.html](http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html) を入力して検索してください。また、スマホの場合は右の Q R コードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



## 編 集 後 記

・梅雨はあったのか？少し雨は降ったが、夏日が続いた。私事ですが 7 月に入ると毎日が猛暑日状態と言っても過言でなく、二上山トレーニングも熱中症対策で中止してしまった。

・夏空が広がる“梅雨明け 10 日間が夏山登山日和”といわれたものですが、異常気象が通常気象となってしまった今、その時候の言葉もどこかに行ってしまった感があるようだ。おかげでと言ってはなんだが夏山企画の実施が好天に恵まれて順調なり。



・針ノ木岳～企画の塚さんの感想の中に大沢小屋の主に「その歳で“針ノ木サーキット”をやるとは…」と言われたことが記してあった。このコースの難度を指すのであろう。三島野 SC の記録をひも解くと、このコースを 1 泊 2 日で企画実施したのは 2005 年。13 名の大パーティーだった。その時“針ノ木サーキット”という言葉は聞かなかった。ネットで調べる盛んに針ノ木サーキットが出てくるが、いつから使われたのだろう。

・「夏山の企画」はまだ続きます。“その歳でも 3000m 峰に立つ”乗鞍岳やビック企画・晩夏の「尾瀬ヶ原」など。一人でも多くの参加で楽しい山歩きをしましょう。

